

活用する規制改革

現状

※文部科学省告示

獣医師の養成数を抑制するため、昭和41年の北里大学以来、新設は認められていない

見直し後

第25回国家戦略特区諮問会議(平成28年11月9日)の決定に従い、1校に限り、新設を認める

効果

- 先端ライフサイエンス研究の推進
- 地域での感染症に係る水際対策の強化

具体的事業

< 新設される「岡山理科大学獣医学部」の特徴・イメージ >

- 四国地域初の獣医学部が開設(入学定員:160名)
- 平成30年4月開設予定(我が国では**52年ぶり**の新設)
- 獣医学科専任教員を**70名配置**
- **独自の充実したアドバンス教育カリキュラム**を編成
- 多様な実験動物を用いた研究をヒトの治療に繋げる**トランスレーショナル研究を推進**
- 人獣共通感染症など、**国際的な危機管理対応のできる獣医師の育成**

< 事業の効果 >

- ① 動物、ライフサイエンス(創薬)など関連産業の集積
 - ② 感染症対策など危機管理の学術支援拠点形成
 - ③ 食の安全、品質保証による畜水産業の振興
- 建設に伴う経済波及効果 **約240億円**
 - 消費に伴う経済波及効果 **約20億円(年間)**

